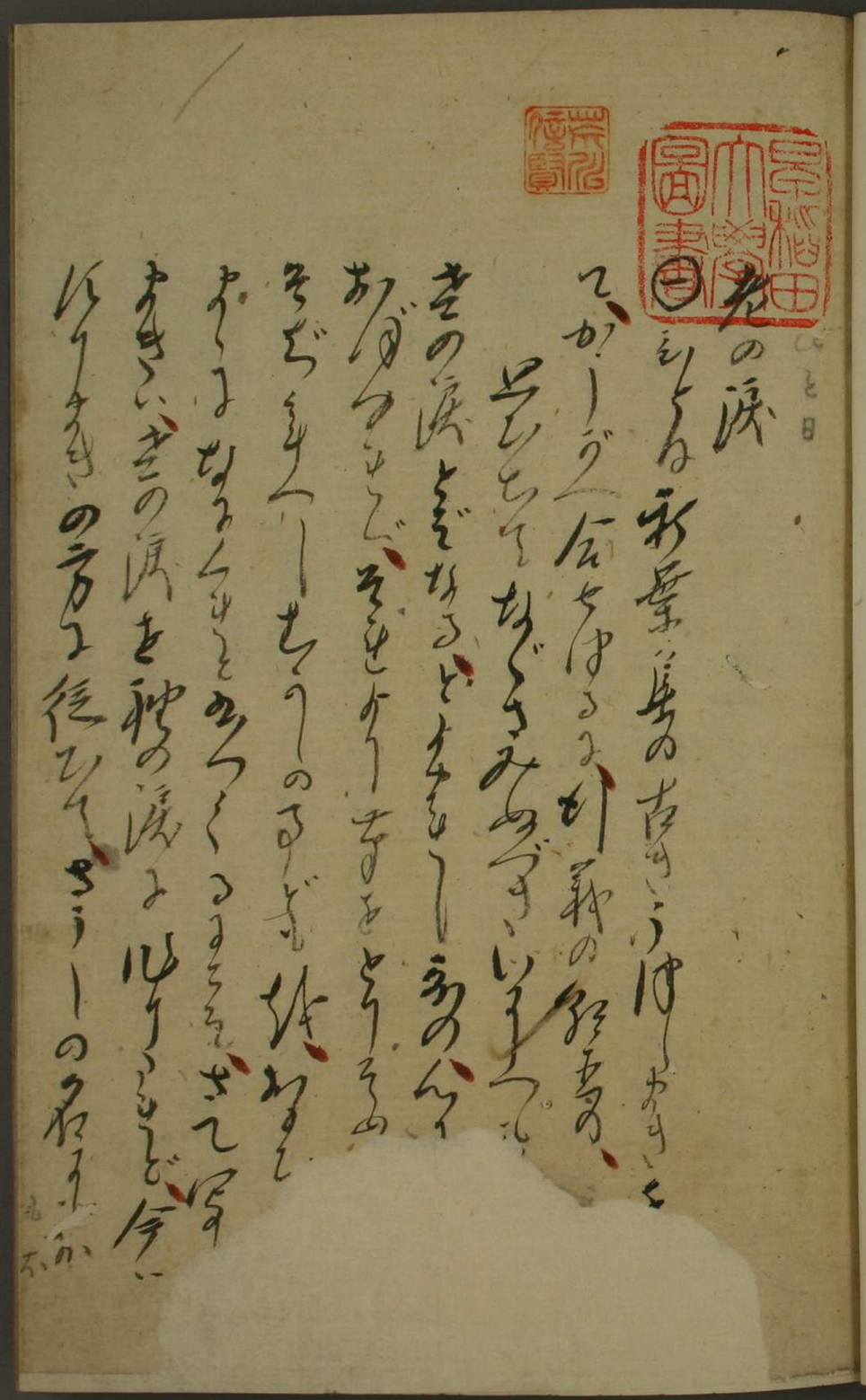
小山田與清遺稿

（自筆本）

老の涙

特別
へ10
5453
1

門 へ 10
號 5453
巻 1



早稲田大学図書館
昭和 35. 1 13 購入
藏書

ほやまるとなん

㊂信濃の櫻湖水の高原に櫻手いとおほう一ともかな
ゆきかゝるをもとゝ櫻のほゝうつくしかりし
さかりのすゑつかた今もこゝろにかゝる
瑞渡院しごの御門典廐の庭なる
櫻をうつす

主人胸中治紀海九州者一家
庭下白櫻手樹書法陽坐看信陽
花出るかゝうきゝ思ひもとてしよなく

みゆるのもとゝ
はなどさかりのをもてうつしとうもり
あるとう

三たびなる櫻の樹ぶかきはで
をうつしなるんとまいそ
詩は翰林也風雅まのも見の樹の
七明の色明かりこゝうき
㊂りうきうのるりうしゝの碧元法師
うなるなりゝ
なををうしぬ

つゆなりとなるを詠じかたるよ
りなりまあまりぬるを　なほよみつゝ
し　あきもそてもぞ
なきこゝの　ぬをぬしてさうあり
さ一いまりしさうれとぞいそそし白
ご二十二年　第高詩巻十人酬和
と化せるかくしもかなしひ
辰

望色い　山よりもしい　海よ　あるん　月
或ん　宝　地　世　社寺　林　もみぢ
仲人　みゝ　せ
のまもなくとも　思ひもしもし　ひさ
さうしあるさ　やくしりまし
ひろぐ　これ　ぬ　さうなき　せ
さまさ一三のもも　秋　ゆけ　ん
陶隠居の　酬上の　雲を　秋　梁の大
行の雲を　一　杜少陵　江東の雲を愛
三子　安の　南　の　雲を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

朝のそらを見しに栄厚停雲を愛し簡
倍湯休碧雲を愛し給ひしも情
歴ゝ詞にあらざるなし
さるものゝよきてなどやはは
ゆかるるこゝろぞしるべきなりよしあづ
(四)岩陰の岩間のすき陸奥の柵道イホト
まるあるもしく三ヶの笠のこ
そこを大堺のつゝみなれしに二ヶつゝ
りすしに住むほしものの二ヶ所
を知落しこゝるあるこゝろ雄岩の間

4

ムかこゝとたゝあ
るのこゝろ嬉しの
こゝあり今ゝ
絶よあるこゝ
そこを陸奥の
まゝ
ひそゝさゝ
あゝけ
しこゝ

のこゝ間のこゝ
明神の社こゝ
下のこゝ
あゝ
けるこゝ
こゝあるこゝ
こゝあるこゝ
こゝ
こゝ
こ

此さうしかくるあんなんよりぐらい
㊅ 初は学をこの初はきい
りくしかのばかなるとりあり
えん頭昭八学をよりぐらいあるよりぐ
あるよりぐらいあるよりぐ
ぐらいあるよりぐ 庵 本居宣長
ぐらいあるよりぐ 初は毛しこの宣
毛実おもかるはかるまぐなるの
が人芭江の清水の庵 新説の左
古半詩人学に説著書詩本性情

書根幹理作詩尚才量著書
学識故前代 曹劉 顔謝及
十子之徒絶不同有書傳世而
架蓋鴻顔師古劉知幾 聖
開詩石五有純兼三並美
代蓋三義人也とつくこうこ
同日のりのがりとしづ
㊆ 澤庵禅師は物おもかく賛辞
をもくりとて世を賛澤庵といひあ
りて中ごろ和歌の賛あり 考よ歌を
道

よいきて巧なる辭の歌をあそばす 伊勢
禪師 法名慈圓 [illegible] 松の
師の島の 亜相光廣 [illegible] 出家
のあとにて歌よみ [illegible]
誘ふ水 [illegible] 中の文おくく
窓有蛍之癖 雪舟有画之癖
僧有和歌之癖
世の中のくるはなるものあるのを和
ひとも [illegible] 色と [illegible]
亜相光廣 [illegible]

(八)小坂遠江守 仏壇中納言の許へ贈る 掛僧 雪舟の筆 松の枝に蹲の [illegible] 楚石法師の水清魚見 [illegible]
辭 [illegible] 一とも近衛隊 [illegible]
東 [illegible]
を [illegible] 仏壇
は [illegible] 重複 [illegible]
水 [illegible] 澄澤 [illegible]
[illegible] 楚石の

賀茂神社へ詣しいなりうんどゝなりとゝ

九 福嶋左衛門尉元則館へ都の舞妓

て茶湯を催し御上衛庵山伝伴

る源野井大納言季吉卿をゝ

庭の待合よりかゝしまいほど正則館

迎まゐりて中門にて蜘蛛の巣の

よりかゝりふるゝをゝてあり狩り

けいめいゝ季吉卿かゝるまゐりて

やう貴庭きゝあるゝ男いるおりやゝ

んばらん（あり出）きこなばのもりより庵

山公家より向ゝやう参り免ばらしゝ

ゝ庭ゝこよなしゝ

しゝなるまゝのゝ

ばなるうけ行会主ゝのゝ

杉の杉すゝ蜘蛛さゝて中門の軒

外ゝゝしゝ

いゝゝなぐさゝゝ

ゝゝゝ

ゝの男の元のゝ

（般若）男

庵山公

の浮世物語にたかとしとあるごとく
りや應此公卿詳い信尋宮ハ左大臣職
関白をきりあらせられ本院右大臣性院初と称
しなきる所事しし
十豊臣殿下天下一統の後ハ最明を
あらせられ微行して風俗を覗て
もとめ給ふ所の色あるさまを親近の
いづれとなく色を失ひ常ばかりあ
ることなく滑稽多くすしの所
下ものいづくさまとしまる諸侯利といふ

者あるとこ丹羽長秀ハ出て家ぐの
ものあるいづれとなくまとめる諸侯利
ものあるいづれとなくまとめる
或時ハ出て名ぐ世と称
ハハ出やとおもふ諸侯利
べ中ハやう海部一事一名ぐ
ハ博奕大ゑ流りして東国西国諸王
ものまりとも博奕の勝負を事と
なるとなく一日清洞さとりて大賞
あつまりて博奕し抵合る坊山伏一人

そのはつう

とりて物ふるがいこでありしとき隆
ようけまりて勝負を手ゑんとしよ　ぞくちの
大お年こしときこてしあやう和倍いく
ぞかりのさいごを勝るかぞうなんて、
うはよいるとかなあどとしよ、
放言していまぞくちのやうも
のかぎりとしあづしかのきこがわをもい
ち一勝負へやばいけこちのかてこあ
こがわいとくさるのなるぞーされど参
用のこがわ許かちくさぞこをかけるのな

まかせざる事ナシ

やうとして二百両とうとして勝負を手一るよ
放言よたがのしばあまくのぞくちふがり
かぎりのこうを作おとりぬぞくちの
年こよりく酬うこまりて和倍
くのぞくちの大王なるんぞのもと
なきしるとおそしりあれ
とかしくをこまこおぞおぞあよ山伏こ
かきてけりあやう
おそりの一年ぞかるよ
ぞこるけとりぞくちとかしこさけ
ばなりてもとぶんよかぞるぶなの

深き川に流れ
くらつべし

高
今はきこえぬきくしつつ深き川にながれこしも
世を大きていてそこなうもの世
小さていい劇毒ぞ
一人にみて和倍いまとよ神変ふし
ぎのふるまいーなふものの名ぞ
おきかぎりのりを世よなかもいまる
ぞやとふるやこすまとよいく
なりまけ其驚こまをつてしり
まげてこそふものの名を驚めき
もきすーじはるがやぞはよなげしまたかみ

10

ぐきておくそけりさてりかゝ神愛不
思議のさくもの大王し今い世とこれ
あーとそひきよしーやけ
とやはよ所下ル
そしあわいさりけりとあうな
ろくなとやもい世微行の
とやもしとひん所下殿旦の銅
難よあいさりいい苦呂利の利口の
ゑけさとと
図箱根の宮の下よ湯あみやし河ぞ云の

あつさ来おぞましき山のたゝずまひ
かゝる月をつゝみて深くかくれる清録上人へ
栄西なども続て参詣し給へり
まゝ
此月いうちそよ仏ゐるかゝちして
ちりつゝ月の宮殿さと出るを上人い
ぶでさうして本堂が月如圓鏡より
句断しはあれ
高
よし今松院者まつ佐ゐ
夏の来光をそ仏ゐ

づるようちそとそこるとりみ方をかてう出
あいをがさ子かぎうなり深れ経寺の
夏の月
のるこばそなぐ
仏でとらこづし
(三)天文十二年とりの頃月の海の
北条左京大夫氏康うどの上ゆげう
こあるしいう仏ゐ所のうちそ
私のまがくしう帝はるさぶくる法
ひこどいむなる

なぐりあるきて成海

あいきつわたくなく情のかたこころかなし

あのもしの家の上を見よとやうくばけ

きばば狐のこえこどもらこもきす

ふえ

よさてあはとあて　もつをのうらと

きばば狐ふ　うりとなん

（十三）

ふるのほどいとうきこそおほうもそこの

えしもの湖のけしきなどえもいふと

んなどさきまるぐなり家よかりて板け

ふきまきまれるこそおりたりふ

はきまんもとぶおりはこのくとぞかこび

おもしてるや行くこそやどる家のよう

ほどいさしかるあるこあるなるこそ

たみなどいとけでいくさくかりて

世情のけぶこちはうなどかりう

きこふぶしこそ絵しかの

うこそるあぶしおまの沖こ

えていそばこきうのしるはんどあるど

燐風のそよあきあうきふこもづて雨

えいよきこあるやこうこで島のこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

せんぞ　あるあらい　あど　ら　ら　い　文化三年
の大火　ほ　ら　ほ　ら　の　ら　の　の　の

[illegible]年[illegible]月廿日事[illegible]

[illegible]同[illegible]年廿日北の新の町家かけ
[illegible]一度[illegible]の六度の[illegible]の[illegible]
ぐ[illegible]

十[illegible]年七月[illegible]の町家やけ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

是嗚呼花長男は梅塢俗称を八百
吉と云て儒釋道の博識にて讀
書一日三行倶下る豪傑しかも稀
録ひろめんを好て俗学を相手に
時宗なり元録の末年に亡くせ
門にて生れたる事しるべし
く俗学はかくなんをみるべし
うー

(十八)吉野接遊のあらまし

其言行をこのあらまし書目も

つくて伺候しうしの頃
こたの月なるも初度をこふ
くはこの度もなるべ
てんなるとこいわ
やのとき
みこの
こいくの
市人
やうい
とい

鄭のよ[illegible]人 翁をはなれ[illegible]
は雞[illegible]をとらはつ[illegible]
[illegible]
[illegible]

老の涙終

48841